

「夏のセミナー」

6月14日(土)

於：静岡県評会議室

●「最近の労働相談の傾向と事例」

梅澤武夫 氏（ローカルユニオン静岡）

この2年間で労働相談の件数が増えています。傾向としては、ネット利用の相談と若者の相談が増えています。相談者の7割が100人未満の職場からです。20代以下の若者と100人未満の職場では、相談内容としては「賃金未払い」が一番多くなっています。非正規労働者全体では「解雇」の相談が多くなっています

●「(株)ワイズマネジメント派遣雇止め裁判」

堀口真理子 氏（建交労）

平成23年12月に静岡地裁に提訴し、今年の6月23日の最終陳述で結審となります。争点としては、①専門業務以外の業務が1割を超えていることの立証、②派遣期間に制限のある業務とみなされる「その他の業務」の解釈、③派遣先との黙示の労働契約の成立、④労働時間契約違反に係わる賃金相当額損害賠償請求、となっています。

●「正規と非正規一緒の組合活動―篠原分会の状況」

河合利夫 氏（建交労）

篠原分会では、パートと正社員が半々です。毎月日曜日に、組合員で集まって、各自の状況報告や学習会を行っています。各職場では、不払い残業や有給休暇がとれないなどの問題があります。しかし職場に労働組合がないことや、入社して間もないことから、改善が難しい状況です。組合運営での悩みとしては、組合費をいくらにするか、平日の活動ができない、会社にどういう形で要求を出せるのか等があります。

●「非正規で働くなかまの全国交流集会」

文書報告：秋山聖代 氏（福保労 千代田分会）

6月7・8日に福岡で開催された「非正規で働くなかまの全国交流集会」に参加しました。7日は「ダンダリン101」の原作者である田島隆氏の講演がありました。田島氏は、子ども時代は両親からの虐待、離婚、生活保護の生活、就職後は学歴差別、解雇との闘いなどがありました。分科会では「パワハラ・メンタルヘルス対策」に参加しました。

口頭報告：赤堀弘美 氏（駿河従組）

分科会では「労働者派遣法改悪など安倍雇用破壊に職場・地域からたたかう」に参加しました。

駿河銀行では、専ら派遣の禁止により、派遣社員を直接雇用にしました。組合としては仕事量を増加させないよう要求しました。また非正規労働者からのアンケート結果をもとに、非正規労働者の賃上げ等を団体交渉で要求しています。

●所報第26号（夏季号）を発行

○「原発ゼロ、自然を資源とした循環型社会は可能だ～ドイツ・フライブルク視察より～」林克 氏

○「デンマークにおける障害者雇用から学ぶ～2012年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム「デンマーク派遣 報告書」より～」磯野博 氏

○「インド・マルチスズキ社の『組合つぶしの暴力事件』について」太田泰久 氏

○「若手組合員のリアル」中澤秀一 氏

○「自治体で働く非正規職員の実態」青池則男 氏